

平成29年4月13日

神奈川県立川崎北高等学校長

事故防止会議の活動状況等について（報告）

1 当該年度における活動状況

(1) 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止）

- 5月 事故防止研修会・日常点検の実施
- 6月 職員全体への注意喚起
- 9月 職員全体への注意喚起
- 10月 日常点検の実施
- 11月 事故防止研修会・職員全体への注意喚起
- 12月 事故防止研修会・職員全体への注意喚起
- 12月 実施状況の確認
- 1月 職員全体への注意喚起
- 2月 職員全体への注意喚起

上記以外にも、朝の打ち合わせや各学年会議・グループ会議等の機会を利用して繰り返し意識の向上について話し、一定の向上効果は得られたと思う。

(2) セクハラ・わいせつ行為の防止

- 5月 事故防止研修会・チェックリストの実施
- 10月 事故防止研修会（セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントにあたる言動の事例を紹介し、注意を喚起）
- 12月 実施状況の確認
- 1月 職員全体への注意喚起

上記以外にも、朝打ち合わせ、各学年・グループ会議等機会ある毎に注意を促した。さらに新聞報道等の懲戒事案を伝達することで職員へ注意喚起を促し、一定の効果は得られたと思う。

(3) 体罰・不適切な指導

- 5月 職員全体への注意喚起
- 7月 事故防止研修会
- 9月 職員全体への注意喚起
- 10月 事故防止研修会
- 11月 職員全体への注意喚起
- 1月 生徒、保護者への体罰・不適切な指導の調査に関して職員全体へ注意喚起
- 3月 生徒を対象とした「授業の在り方改善アンケート」を実施し、日常の授業に対

する生徒意見を集約し、それを基にした研修を実施

上記以外にも、朝の打ち合わせ時等で新聞報道等の懲戒事案を伝達することで職員へ注意喚起を促した。今後も、より一層の職員の自覚を求める働きかけが必要である。

(4) 適正な経理処理

4月 P T A会計監査

4月 会計担当者を対象に私費会計処理に関する研修会を実施

8月 平成28年度会計関係書類管理職チェック（1回目）

9月 財務事務調査

9月 事故防止研修会（会計事務等の適正執行）

10月 平成28年度会計関係書類管理職チェック（2回目）

10月 P T A会計監査

12月 実施状況の確認

2月 P T A会計監査

上記以外にも、朝の打ち合わせや各学年会議・グループ会議等を利用して、具体的な注意点をあげ、その徹底を図った。部費の執行等も含めて、P T A会計監査や財務事務調査においても特段の問題点は指摘されなかった。今後も適正な会計処理を継続し、担当者が変わっても徹底を図りたい。

(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

4月 暗号化フォルダの利用者の設定

6月 事故防止研修会（校内ネットワークと個人情報保護に関する研修会）

7月 事故防止研修会（成績処理・進路関係書類の扱いについて事例をもとに研修）

12月 入学者選抜に係る事故防止について啓発資料を用いた研修

1月 職員全体への注意喚起（児童生徒への適切な連絡方法について）

上記以外にも、朝の打ち合わせ、各学年会議等の際に注意を促し、各教員の意識は向上したと思う。しかし、SNS等の情報管理について常に新たな問題が社会で取り上げられており、今後も最新情報等に対する研修の機会が必要である。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

4月 職員全体へ注意喚起

5月 事故防止研修会（飲酒運転の防止）

7月 日常点検の実施・検証

11月 日常点検の実施・検証

11月 事故防止研修会（交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止）

12月 宮前警察署より講師を招いて交通安全研修会を実施

12月 実施状況の確認

上記以外にも、朝の打ち合わせ等の機会を利用して新聞報道等の事故事案等を適宜紹介し、注意を促した。飲酒・酒気帯び運転の防止は徹底できたと思う。ただし、自家用車通勤の職員も一定数おり、一瞬の不注意が交通違反、交通事故につながるという事を常に注意喚起していく必要がある。

(7) 業務執行体制

4月 職員全体へ注意喚起

6月 文書事務に係る研修会

6月 事故防止研修会（採点・成績処理の事故防止について）

7月 事故防止研修会（進路関係書類の適正処理と事故防止について）

7月 調査書についての研修

12月 実施状況の確認

1月 入選システムに関して入学者選抜要綱を用いて研修

2月 入選システムに関して、特に採点業務に係る研修

昨年度明らかになった入選に係る採点ミスの問題を常に職員に意識させ、ミスを未然に防止するための相互チェック体制の充実に努めた。また、新入試システムにおけるミスの防止、採点業務に係る業務体制の見直しを図った。今後もなお一層、相互チェック機能は強化が必要である。

(8) その他

4月 修学旅行等における生徒引率中の飲酒を厳に慎むことについての指導を徹底

7月 熱中症対策、光化学スモッグ対策の研修資料を配付

7月 心肺蘇生法研修会

1月 学校生活全般における体罰の実態調査に関する調査及び県立学校生徒対象のセクシャル・ハラスメントに係るアンケート調査について説明する際に、資料をもとに職員研修実施

「不祥事ゼロプログラム」をベースにしながら、学校や公務員に係る事故が報道された時などを使って、日常的に全体に対し、管理職より注意喚起をした。

2 上記の活動に対する校長の意見

今年度は、昨年度に発生した入学者選抜業務における採点誤りにより、受検生をはじめとして在校生や保護者の信頼を損ねたことへの反省から、二度と不祥事を起こさないと強く決意をし、教員を指導した。

しかし、今年度も2点、事故に相当する事案が生じた。1点目は、定期試験の模範解答の誤りによる誤採点が判明し、生徒・保護者に謝罪した。2点目は、奨学金の給付に関する県からの通知文書を誤って別の生徒に配付するという誤りが生じ、該当した生

徒・保護者に謝罪した。

どちらも、複数の目による確認作業の在り方に甘さがあり、ミスを発見することができなかった。職員には業務を相互にチェックする体制の再点検を行わせ、個々の職員が細心の注意を払って事故防止に取り組むよう、改めて注意喚起を行った。

今後は、二度とこのような事故がないよう、再発防止に真摯に取り組む所存である。

3 次学年における取組予定

事故・不祥事防止の会議・研修が、他人事ではなく自分達に係る重大な課題と受け止め、引き続きどのようにしたら不祥事を防げるかをグループ協議等を通して考えさせ、新年度の活動がこれまで以上に充実するよう取り組む。特に本年度、本校に関連した「業務執行体制」「個人情報等の管理」の改善などを重点項目として取り組む。

4 その他

特になし